

ぎふ女性農業委員 ・推進委員だより

編集・発行 ぎふ農業委員会女性ネットワーク
会長 後藤 展子

<事務局> 一般社団法人岐阜県農業会議
〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12
TEL:058-268-2527 FAX:058-273-6177
E-mail:gifu@nca.or.jp

2017年2月14日
(第7号)

平成28年4月1日に施行された改正農業委員会法により、旧法の農業委員の任期満了順に改選が行われており、本県では、山県市、各務原市、瑞穂市、飛騨市、下呂市、恵那市と改選が進み、郡上市が平成29年3月1日に改選されます。

山県市は、農業委員20名から、農業委員14名+推進委員12名で26名の体制となりました。今まで女性委員はゼロでしたが、新体制では農業委員に女性を3名登用、さらに推進委員にも女性を2名登用し、県下初の女性農地利用最適化推進委員誕生となりました。

各務原市は、農業委員27名から、農業委員19名+推進委員16名で35名の体制となりました。本市も、今まで女性委員はゼロでしたが、新体制では女性農業委員が2名誕生しました。

ますます進む、農業委員・推進委員 の女性登用!!

平成28年度改選7委員会で27人の女性登用(8人増)

瑞穂市の市橋直子会長



瑞穂市は、農業委員27名から、農業委員14名+推進委員10名で24名の体制となりました。今まで4名の女性農業委員が登用されていましたが、4名全員が新農業委員に継続登用されることとなり、5月1日、市橋直子委員(6期目)が、県下初の女性農業委員会会長に選任されました。

飛騨市は、農業委員28名から、農業委員19名+推進委員15名で34名の体制となりました。今まで5名の女性農業委員が登用されていましたが、2名が継続登用、3名が新たに登用され、5名を維持しました。

下呂市は、農業委員25名から、農業委員14名+推進委員12名で26名の体制となりました。今まで2名の女性農業委員が登用されていましたが、1名が継続登用、1名が新たに登用され、2名を維持しました。

恵那市は、農業委員36名から、農業委員19名+推進委員22名で41名の体制となりました。今まで5名の女性農業委員が登用されていましたが、2名が継続登用、3名が新たに登用され、5名を維持しました。

郡上市は、農業委員28名から、農業委員19名+推進委員19名で38名の体制となります。就任は3月1日ですが、議会同意は済んでおり、今まで3名の女性農業



山県市の農業委員任命式

委員が登用されていましたが、2名が継続登用、1名が新たに登用し3名を維持できそうで、さらに推進委員にも女性が1名登用されるようです。
残りの35農業委員会は、平成29年7月の任期満了に伴って一斉に改選が行われることとなり、7月末には県内全ての農業委員会の新体制移行が完了することになっています。

現在、それぞれの市町村において、農業委員と、法改正によって新たに設置されることとなった農地利用最適化推進委員の募集が始まっていたり、定数・報酬条例の改正や選任規則などの整備、各委員の募集の準備などが進められています。

組織の名称を「ぎふ農業委員会女性ネットワーク」に変更!

9月16日、「瑞穂市総合センター」において、県女性農業委員協議会の総会を開催し、県内の女性農業委員30名、農地利用最適化推進委員1名のほか、関係者含め41名が参加しました。
この総会で、新たに会員に女性農地利用最適化推進委員を加えることとし、組織の名称を「ぎふ農業委員会女性ネットワーク」とすることに決定しました。

女性農業委員オススメ! 地域食材をふんだんに使った料理教室を開催!

10月26日、岐阜市「もえぎの里」で地域食材を使った料理教室を開催しました。

全国農業新聞が昨年度から「農家のレシピ」を提供しているクックパッドや岐阜市の広報などで参加者を募り、23名の応募がありました。当日は、女性農業委員・推進委員、農業委員会職員らが講師・アシスタントとして参加、計41名が出席しました。

料理教室は、地域食材を利用し、簡単で美味しく短時間で作れるよう考えられたレシピで実施。白川町の佐伯美智代農業委員が栽培したトマトを使った「トマサバご飯」

や、富加町の河野常子農業委員が食農教育活動を通じて栽培したカボチャを使った「焼売風かぼちゃ



料理教室での試食会

講師は女性農業委員

2017年2月14日(第7号)

**東海・近畿ブロック
女性農業委員
研修会に参加!**

11月16日、愛知県名古屋市の「通信会館」において開催された東海・近畿各府県農業会議・女

性農業委員等組織主催の標記研修会に参加しました。

東海・近畿ブロックの女性農業委員や関係者など156名、本県からは、女性農業委員18名ほか20名が参加、「新体制における今後の組織対応について(全国農業会議所)」、「農業者年金加入推進について(農業者年金基金)」の情報提供や、「地域農業に根ざした女性農業委員活動の在り方」

参加費は800円で、地域食材のお土産付き。参加者からは「短時間で作れるのでお弁当のおかずにも良い」「地域食材を使った新しいメニューで作ってほしい。ぜひ参加したい」などの感想が聞かれました。



東海・近畿ブロック女性農業委員研修会



有限会社角田ナーセリーの角田ミサコ専務

**女性農業委員・
推進委員視察研
修会の開催!**

東海・近畿ブロック女性農業委員研修会の開催に合わせ、11月16日～17日、愛知県一宮市・安城市において視察研修会を開催しました。

をテーマにパネルディスカッションが行われました。

なお、平成29年度は滋賀県での開催が予定されています。



安城市の3名の女性農業委員との意見交換会

16日は、愛知県一宮市の有限会社角田ナーセリーを視察し、角田ミサコ専務(元農業委員)から1000品目以上、年間1500万ポットを販売している経営の内容や、経営規模拡大の経緯などについて説明を受け、施設内を見学させていただきました。

17日は、安城産業文化公園デンプーク管理事務所内の会議室で安城市女性農業委員3名から、同

市の4名の女性農業委員による「いちじく」の6次産業化商品開発の取り組みなどを聞くとともに、農業委員・農地利用最適化推進委員の取り組みについて意見交換を行い、その後デンパークの施設を視察しました。

**女性農業委員
登用促進研修会
に参加!**

1月11日、12日、東京都「弘済会館」において全国農業会議所が主催する標記研修会が開催され、女性農業委員や都道府県農業会議職員等142名が参加。本県からは、県農業会議が女性農業委員登用促進アドバイザーに委嘱しているぎふ農業委員会女性ネットワークの後藤会長、市橋副会長、佐伯副会長と事務局が参加しました。研修会では、(有)ブルーベリーフィールズ紀伊國屋 松山剛士氏(滋賀県大津市)が「女性目線からみた農業経営」地域活性化の

ためのヒント」と題して講演を行いました。

その後、10グループに分かれて①改正農業委員会法を受けた今後の女性登用対策について ②「農地利用の最適化の推進」に向けた女性農業委員に求められる役割と取り組みについて ③地域活性化に向けた新たな取り組みについて(6次産業化(道の駅)、消費者との連携、食育活動)をテーマに意見交換しました。

**全国女性農業
委員ネットワーク
総会に参加!**

1月12日、東京都「弘済会館」において、女性農業委員登用促進研修会に引き続き開催され、各県女性農業委員等組織代表や農林水産省の関係職員等87名が参加。本県からは、ぎふ農業委員会女性ネットワークの後藤会長と事務局が参加しました。総会では「平成28年度の活動

報告の承認」「平成29年度活動計画の策定」「会の名称変更及び規約の改定」が上程され、全て原案どおり承認されました。「会の名称変更及び規約の改定」の内容は、農業委員会法の改正によって新たに各県組織の会員に農地利用最適化推進委員が加わったことなどから、組織の名称を「全国農業委員会女性協議会(通称..女性委員ネットワーク)」とし、関係する規約を改定することとなりました。なお、平成30年度から会費を徴収することについて検討することも確認されました。

<編集後記>

平成28年4月に改正農業委員会法が施行され、平成29年7月には県下42農業委員会が新しい体制として整うことになり、6つの農業委員会を除いて農業委員会の農業委員の上限定数は14名か19名となります。従前30名以上の農業委員会ではおよそ半減することになり、活動体制も十分考慮しなければなりません。また、今回の改正で、農業委員とは別に農地100haに付き1名の農地利用最適化推進委員を委嘱することになり、農業委員会の活動が低下しない仕組みが取られます。

農業委員会は、農業委員と農地利用最適化推進委員の両者で構成され、両委員の構成は市町村毎に異なり、農業委員会としての活動はこの両委員の役割分担や活動方法などが大きなポイントとなります。

また、今回の改正農業委員会法では女性や若者の登用が「配慮しなければならない」重要事項となっており、改選に向けて、女性農業委員の皆様は積極的にご参画いただきますことを強く期待するところです。(H)